

第70回

おおさかたきぎぎのう

大阪新能

令和8年8月11日(火・祝) 12日(水)

午後5時半開演 午後4時半開場

生國魂神社境内

電話 〇六―六七七―〇〇〇二
地下鉄谷町線「谷町九丁目」③出口
谷町筋南へ200m右入ル

【What is Osaka Takigi Noh?】
Every year on August 11th and 12th at Ikutama Shrine, Takigi Noh performances are held using the light emitted from fire lanterns. It is now an annual event that has become to be known as a signature summer event in Osaka.
【What is Noh?】
Noh is a total art form comprised of drama, music and dance elements, that has been handed down through generations and been labeled one of the worlds oldest performing arts.

ヤングNOH能
キッズ&学生
はまつてみよう 謡の世界
令和8年8月11日
午前10時～
入場無料
雨天の場合は
大阪新能に準じて順延

11日(十一日) 能
終正 骨之型
鬼瓦 火入れ式
半蒨 喜多流
金札 (観世流) 能
21日(二十一日) 能
田村 (観世流) 能
柑子 (大藏流) 狂言
石橋 生國魂 (観世流) 半能
火入れ式

入場料[各日]: 当日券 4,000円 前売券 3,500円 学生券 2,000円(当日のみ)
主催: (公社)能楽協会 大阪支部・大阪新能委員会
後援: 生國魂神社
助成・補助: 大阪市・(公財)東教育財団

前売発売所: チケットぴあ (Pコード542-662)
大丸心齋橋店 近畿日本ツーリスト(上本町)
生國魂神社 各出演者 各能楽堂

チケットぴあ 検索



Osaka Takigi Noh
Dates : August 11th (Tue) / 12th (Wed), 2026 at 5:30pm
Location : Ikutama Shrine
Closest Station: Osaka Metro Tanimachi 9-chome Station - T25/S18
Admission : Advance ¥3500 , Doors ¥4000 ,
Doors - Discount for students ¥2000
Contact : Ikutama Shrine +81 (0)6 6771 0002

※ 契約カメラマン以外の録音及び写真・ビデオ撮影は堅くお断り申し上げます。
降雨その他の事情により演能が不可能となった場合は火入れ式終了を以てその日の新能は成立とさせていただきます。なおこの場合、順延及びチケットの払い戻しは致し兼ねますので悪しからずご了承下さい。

令和八年八月十一日(火・祝) 午後五時半開演

能楽を
より楽しくご覧頂くために
能楽水先案内人 上野雄介
上野朝彦

〮能 〮 Tsunemasa

平穩正 山本博通

経

(観世流)

正 僧都行慶 福王茂十郎

大鼓 山本哲也
小鼓 清水皓祐 笛 森田啓子

替之型

後見 前田和子
赤松禎友

地謡 伊原 昇 井戸和男
鶴 克彦 生一知哉
水田雄晤 齊藤信隆
齊藤信輔 寺澤幸祐

〮狂言 〮 Onigawara

鬼瓦

(大藏流)

大名 善竹隆司

太郎冠者 小西玲央

後見 上吉川徹

火入れ式

成田達志

あいさつ

大阪市長 横山英幸

〮能 〮 Hashitomi

半部

(喜多流)

夕顔女 高林昌司

僧 福王知登

大鼓 上野義雄
小鼓 成田 奏 笛 貞光訓義

問 所ノ者 善竹隆平

後見 高林白牛口二
高林呻二

地謡 松井俊介 佐々木多門
長田 郷 金子敬一郎
谷 友矩 友枝真也

〮仕舞 〮

難波

梅若猶義

地謡 宮下昌子
赤井きよ子
塩谷 恵
前田飛南子
山下あさの

三山

石黒実都

地謡 畑 宏隆
辰巳孝弥
辰巳二郎
伊東静夫

〮能 〮 Kinsatsu

金札

(観世流)

天太玉命 梅若雄一郎

勅使 喜多雅人

從者 佐々木 秀

大鼓 守家由訓 太鼓 上田慎也
小鼓 久田陽春子 笛 赤井要佑

後見 立花香寿子
梅若猶義

地謡 田中誠士 林本 大
稲本幹汰 梅若堯之
山本麗晃 梅若基徳
山田 薫 井戸良祐

終了予定 午後八時四十五分頃

令和八年八月十二日(水) 午後五時半開演

能楽を
より楽しくご覧頂くために
能楽水先案内人 上野雄介
上野朝彦

〮能 〮 Tamura

坂上田村麿子 大西礼久

田村

(観世流)

旅僧 中村宜成

大鼓 辻 雅之
小鼓 成田達志 笛 野口 亮

替装束

間 清水寺門前ノ者 上吉川 徹

後見 今村哲朗
武富康之

地謡 稲本幹汰 長山耕三
永田克壬 生一知哉
金子 昭 山本章弘
齊藤信輔 梅若基徳

〮狂言 〮 Kouji

柑子

(大藏流)

太郎冠者 善竹隆平

主人 小西玲央

火入れ式

上野朝彦

あいさつ

薪能委員長 島田昌建

〮能 〮 Kutama

生國魂

(観世流)

童御巫 福王耀二郎

童御巫 福王登一郎

等流リノ女 上野雄三

内侍典侍ノ靈

栗谷 福王知登

大鼓 山本寿弥 太鼓 中田一葉
小鼓 荒木建作 笛 貞光智宣

間 神主 善竹隆司

後見 大槻裕一
赤松禎友

地謡 上野雄介 井戸良祐
上野朝彦 山本博通
山田 薫 上野朝義
林本 大 寺澤幸祐

〮仕舞 〮

佐保山

金春穂高

地謡 金春飛翔
佐藤俊之
金春嘉織

〮半能 〮 Shakkyo

石橋

(金剛流)

狛獅子 藤田章三

狛獅子 山口等悟

白獅子 山口尚志

寂照法師 廣谷和夫

大鼓 森山泰幸 太鼓 中田弘美
小鼓 上田敦史 笛 齊藤 敦

後見 豊嶋幸洋
豊嶋彌左衛門
溝前元嗣

地謡 辻 芳彦 重本昌也
大菅義信 田中敏文
中嶋謙昌 谷口雅彦
上村雅義 北川米喜

終了予定 午後八時四十五分頃

第一日

「経正」

一の谷の合戦で討死した平経正の霊を弔おうと仁和寺御室の僧行慶は彼の愛用した青山の琵琶を手向けていると経正の亡霊が現れ修羅の苦しみを現しやがて消えて行くのでした。

「鬼瓦」

訴訟で帰国する大名が京都因幡堂の鬼瓦を見て国に残した妻の顔を思い出し大泣きする。

「半部」

光源氏と夕顔の君の恋物語を描いた名曲、僧が夕顔の菩提を弔っていると半部を上げて夕顔の霊が現れ舞を舞い、また半部の中に消えて行くのでした。

「金札」

桓武天皇より神社を造営せよという勅命を受けたワキの前に天より金札が降る。そこに金札の神、天太玉命が現れ弓矢を射て悪魔を降伏させ天下は泰平となる。

第二日

「田村」

春の清水寺、とある僧の前に一人の少年が現れ春宵一刻値千金を楽しむ、その少年は坂上田村麻呂の化身であった。勝修羅能の代表作。

「柑子」

主人から預かった珍しい三つのみかん（柑子）を食べてしまった太郎冠者が言い訳を色々考えます。

「生國魂」

第50回を記念して新しく作られた曲です。若狭国の歌人が和歌の故郷の難波の大社生國魂神社に参詣して、菅笠を売る女性に八十島祭の由来を聞きました。神前に通夜をしますと巫女達が現れ八十島祭を執り行います。

「石橋」

中国清涼山に忽然と現れた石の橋、向いは文殊の浄土、やがて文殊の遣いの獅子が現れ勇壮な舞を舞う、祝言能の代表作。歌舞伎や舞踊の「鏡獅子」や「連獅子」の元となった曲

入場料

当日券 四、〇〇〇円 (各一日有効)
前売券 三、五〇〇円 (各一日有効)
学生券 二、〇〇〇円 (当日のみ)

入場券販売所

◆チケットぴあ (ロード542-662)
◆大丸心齋橋店
◆近畿日本ツーリスト(上本町)
◆生國魂神社 ◆各出演者 ◆各能楽堂



都合により能の一部を短縮することもありますのでご了承下さい。当公演は、指定写真班を設けております。事前に許可のない方の録音及び写真・ビデオ撮影は堅くお断り申し上げます。

降雨その他の事情により演能が不可能となった場合は火入れ式終了を以てその日の薪能は成立とさせて頂きます。なおこの場合、順延及びチケットの払い戻しは致し兼ねますので悪しからずご了承下さい。